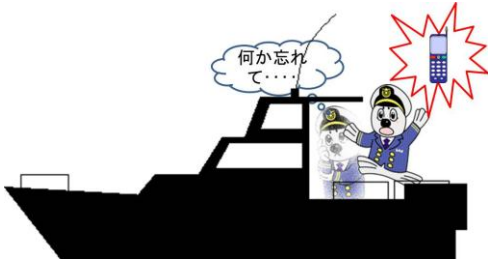


マリレジャーに関する安全情報など様々な情報をお届けします！

海の事故情報 2 月中のマリレジャーに伴う海難・人身事故の発生状況

プレジャーボートの海難

- ①【機関故障】2月4日、青森県平舘漁港の沖で釣りをしていたプレジャーボート（長さ 6.8m、1 名乗船）が、船内機の冷却水ホースからの水漏れにより機関を使用できなくなりました。乗船者は、携帯電話を家に忘れたため救助を要請することができず、シーアンカーを入れて漂流していたところ、夜になって、捜索していた青森海上保安部の巡視艇が発見し、無事曳航救助されました。帰りが遅いことを心配した家族からの通報を受けて捜索していたもので、発見が遅ければ漂流方向の岩場に流されて転覆するおそれがありました。乗船者によれば、漂流中近くを航行する船が見えたので、信号紅炎を使って救助を求めたものの気付かれなかったとのこと。原因は、機関冷却水ホースが劣化し亀裂を生じたことによるもの。



- ☆ 定期的な点検・整備を励行して、消耗品類はメーカーが推奨する期間内に交換しましょう。発航前には燃料量、エンジンオイル量、バッテリー電圧、冷却水漏れの有無などを点検しましょう。
- ☆ 連絡手段の確保は命綱。携帯電話はくれぐれもお忘れなく！

ワンポイント講座 春です！冬ごもりしていたボートも点検整備を！

平成 16 年から平成 25 年までの過去 10 年間に東北地方で発生したプレジャーボート海難の状況を見ると、海難の種類別で最も多いのは運航阻害（燃料切れ、バッテリー上がり等）、次いで多いのが機関故障となっていて、この 2 種類で海難全体の 3 割以上を占めています。運航阻害の原因は、発航前に燃料量の点検を行っていない等の船体機器整備不良が約 5 割を占めています。機関故障の原因は、日頃の点検整備を行っていない等の機関整備不良が約 6 割を占めています。

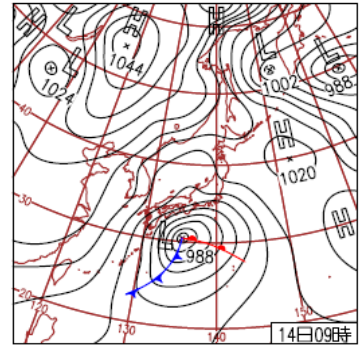
特に長期間使用していなかったボートは、バッテリー上がりや可動部の固着などの不具合が起こりがちです。運航前に必ず点検・整備を行きましょう。

- ・バッテリーの液量や電圧
- ・燃料パイプのひび割れや燃料渡し器の目詰まりの有無
- ・冷却水パイプからの水漏れや海水渡し器の目詰まりの有無
- ・エンジンオイル量やエンジンからのオイル漏れの有無
- ・可動部の動作確認やグリスアップ、オイルやホース類等消耗部品の交換 など



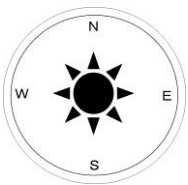
海の言葉 海や船に関する用語について解説します。『南岸低気圧』

2月中旬に関東から東北地方の太平洋岸を中心に大雪や暴風による被害をもたらした「南岸低気圧」。毎年この時期になるとニュースなどでよく耳にする語ですが、気象庁の予報用語では「日本の南海上を主として東～北東に進む低気圧」と解説されています。南岸低気圧自体は1年を通じて見られますが、気温の低い1月後半から3月ごろに南岸低気圧が通過すると、低気圧の南側から吹き込む暖気と北側から吹き込む寒気がぶつかり、太平洋岸を中心に降雪をもたらすことがあります。南岸低気圧が進むコースや発達程度、大陸からの寒気の状態などの条件により、雪になるか雨になるか、また、その量も変わってきます。



平成25年1月14日の天気図(気象庁HPより)南岸低気圧が発達しながら通過し、関東南部を中心に雪となった。

羅針盤 編集担当者の四方山話的コラムです。『大雪』



今年の冬は、秋田県の内陸部で大雪になっているというニュースが頻りに流れ、「大変だなあ」と他人事のように思っていました。2月は南岸低気圧の通過により東南北部の太平洋岸でも大雪となり、あらためて雪国で暮らす方々の苦勞を身にしみて感じました。

雪を当然のことと考えて常に対策を講じている地域と、そうでない地域の差は歴然で、大きな通りの除雪さえもなかなか進まず、道路は大渋滞となり、脇道はとても車で走れるような状態ではありませんでした。家の前の道路の雪かきは、地域の住民の方々が汗を流している光景も見られましたが、全く行われていないところも目に付きました。自分の敷地以外は行政の仕事と考えている方もいるでしょうが、都市部でも高齢化が進み、やりたくてもできないという方も多いのかもしれませんが。

豪雪に見舞われている山間部などでは、自分たちでは除雪ができない高齢者世帯が多く、比較的元気な中高年の方々が高齢者の家の除雪を行っているという話を聞きます。プロの船乗りには、海難に遭った船があれば最寄りの船は必ず救助に向かうなど、海上での相互互助がごく当たり前のこととして考えられています。厳しい環境にある場所や地域ほど、そこで暮らす人々の互いの思いやりと助け合いの気持ちが強くなるのかもしれませんがね。



本紙を印刷物でご覧の方へ

マリレ情報よろず屋をホームページからご覧になる場合は、次のURLから！「マリレよろず屋」で検索してもヒットします！

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/yorozuya/index.htm>

